

【評価対象年度 2019年度】

公の施設の指定管理者管理運営状況評価結果

1. 基本情報

(1)管理施設

施設名	町田市美術工芸館		
施設概要	【所在地】町田市忠生3-6-22 【開設年月】1981年5月 【開館日時】月曜日から金曜日までの午前8時30分から午後5時まで 【敷地面積】1,999.93㎡(東京都との無償貸付契約) 【建物面積】989.16㎡(1階美術工芸館部分) 【建物構造】鉄筋コンクリート造2階建て		
設置目的	障がい者に対し、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に基づくサービスを提供することにより、利用者一人ひとりの社会参加と自立した生活を支援していく事を目的とする。		
設置根拠法令・条例	町田市授産センター条例		
所管部課	地域福祉部障がい福祉課	問合せ先	042-724-2147
施設ホームページURL	https://machida-ikuseikai.net/service/kougeikan.html		

(2)指定管理者

指定管理者名	社会福祉法人 まちだ育成会	法人番号	3012305000456
指定管理者所在地	町田市山崎町1214番地1		
指定期間	2015年4月1日～2020年3月31日		
指定管理業務の内容	(1)町田市美術工芸館(以下「美術工芸館」という。)の事業の実施 (2)障害者総合支援法に規定する就労継続支援事業を行うこと。 (3)就労継続支援事業の利用契約書及び重要事項説明書等に対する承諾に関すること。 (4)利用料の收受に関すること。 (5)美術工芸館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (6)事業報告書の提出に関すること。(年1回以上の提出)		
利用料金制	<input type="checkbox"/> 該当	<input checked="" type="checkbox"/> 併用	<input type="checkbox"/> 非該当
		選考方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募

2. 選定時の提案内容

提案内容(目標値など)	達成時期	達成状況
研修を常勤職員全員が受講する。	毎年度	常勤職員の研修受講が出来た。
高校、専門学校などの実習生を積極的に受け入れ、外部の目を入れることにより、虐待防止に努める。	毎年度	26名の受け入れをし、違和感を覚えた支援がなかったか確認を行った。
送迎希望のあるご利用者には、通いやすいよう95%以上の実施が出来るように努める。	2020年3月	送迎を希望されるご利用者全員の利用が出来た。

3. 昨年度の課題

内容	<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価を受審し、ご利用者満足度を把握する。 ご利用者の高齢化、重度化に合わせた支援方法の検討を行う。
----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

4. 総合評価及び所見

総合評価	A	【総合評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない D:大きな課題がある S:Aのうち実施内容が特に優れている
所管課総合所見(特筆すべき点(Sの場合必須)、提案内容の実現状況、昨年度の課題への対応等)	<ul style="list-style-type: none"> 2018年度は利用者満足度調査を実施していなかったことを指摘したが、今年度は実施の確認ができた。 管理施設業務に関わる経費については、黒字となっており、安定した運営を行っていることを確認した。 業務履行状況・財務履行状況ともに要求水準を満たす運営を行っている。 建物の老朽化、利用者の高齢化により現行施設での支援が難しくなっている。 	
指定管理者所見(補足説明・アピール・未達成項目の改善策等)	<ul style="list-style-type: none"> 第三者評価を受審しました。ご利用者の満足度は、大変満足、満足が64.2%であり、意見としては、「一番最初はよく美術工芸館の人たちと散歩行ったりしたんだけど、そういうことはなくなってしまった。散歩行きたい。」や「これからどうなっていくやら不安。」の意見をいただいたため、次年度以降、満足のいくサービスを提供できるかが課題となっています。 今年度は、事故報告、ヒヤリハット報告がとて多くなっています。昨年度の課題でもあった、転倒が26件あり、そのうち、怪我をしてしまったものは1件でした。てんかん発作が原因のものです。次年度以降も、転倒のリスク回避や、ご利用者の高齢化、重度化に合わせた支援方法が課題となっています。 	

【評価対象年度 2019年度】

5. サービスの質に関する評価

【利用者アンケート調査】

調査概要	【調査期間】 2020年1月23日及び1月28日 【ご利用者数】 66名 【聞き取り者数】 53名 【聞き取り率】 80.3% 【調査方法】 聞き取り
------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

指標1	評価基準	目標	結果	評価	
利用者満足度	A:90%以上 B:50%以上～90%未満 C:50%未満	80%	64.2%	B	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2015	2016	2017	2018	2019
目標値	80	80	80	80	80
実績値	82.7	74.5	77.2	-	64.2

指標2	評価基準	目標	結果	評価	
送迎サービス実施率	A:希望者の95%以上 B:90%以上～95%未満 C:90%未満	93%	100%	A	
指定期間内における実績(単位:%)					
年度	2015	2016	2017	2018	2019
目標値	93	93	93	93	93
実績値	100	100	100	100	100

指標3	評価基準	目標	結果	評価	
自主事業開催回数	A:12回以上 B:10回以上11回以下 C:9回以下	12回	16回	A	
指定期間内における実績(単位:回)					
年度	2015	2016	2017	2018	2019
目標値	12	12	12	12	12
実績値	15	17	23	20	16

サービスの質に関する総合評価	所管課所見
A	送迎サービス、自主事業開催回数は水準以上であるが、利用者満足度が6割強である。全体として良好であるものの、利用者満足度調査の結果を精査し、より良いサービス向上策を検討する必要がある。

【サービスの質に関する評価基準】 A:良好である B:要求水準達成 C:良好ではない

【評価対象年度 2019年度】

6. 業務履行状況の確認

大項目	小項目	要求水準	履行状況	適否
平等利用の確保	施設の設置目的に沿ったサービスを平等に提供しているか	個別支援計画の作成	個別支援計画を策定し、面談にて説明を行い、同意を確認した。	適
	利用者からのモニタリングを実施しているか	利用者アンケート及び会議	面談時に、ご利用者の要望をお聞きしている。また、年13回の利用者との会議を開催した。	適
施設・管理運営方針	設備機器の安全確認・保守点検	年1回以上の実施	昇降機点検:月1回、消防設備点検:年2回、電気保守点検:年6回、水質検査:年1回、冷温水機点検:年2回、貯水槽清掃:年1回	適
	施設と法人本部の連携	経営会議・運営会議の開催	年21回の経営会議を実施 年12回の運営会議を実施	適
情報公開・個人情報保護	情報公開体制	情報公開規定の整備	情報公開規定を整備している。	適
	適切な取扱	施錠された書庫で保存	鍵のついた書庫での管理と施錠をしている	適
要望対応	事故トラブルの未然防止	ヒヤリハット台帳の作成	ヒヤリハット記録簿を作成し、職員ミーティングで共有している	適
	苦情対応記録	苦情発生の抑制と迅速な対応	苦情相談ポストの設置をしている。施設外からの苦情が1件あったが、迅速に対応できた。	適
危機管理	災害・防犯への備え	消防計画に基づく訓練を年2回以上	防災を想定した施設宿泊訓練:2回 全体避難訓練1回 消火訓練1回	適
	各種保険への加入	傷害保険への加入	団体総合生活補償保険・傷害保険に加入	適
人的安定性	職員研修	年間16回の実施	18回、のべ30名が研修に参加した。	適
	職員配置	法律の人員配置基準 (就労B型/利用者7.5人に1人) (生介/利用者3人に1人)	就労継続支援B型 6.9対1で配置した。 生活介護 2.9対1で配置した。	適
管理経費の縮減	経費の適正執行	価格情報の把握	消耗品はまとめて購入をし、少しでも安くしている。また、数社を比較し安いほうを購入している。	適
	管理経費の縮減	節電の推進	施設内外の一部消灯。紙や段ボールはリサイクル買取業者に持ち込んでいる。こまめに分別。	適
地元貢献	地域との交流	地元町内会等との交流	回数:年2回 美工フェスティバル、納涼の集い	適
	地産地消	地元野菜の利用	給食材料仕入れ業者に出来るだけ地元の野菜を選ぶようにしている。	適

業務履行状況の確認結果(適否)	所管課所見
適	要求水準を満たしていることを、現場でのヒアリング及び日誌、報告書、各委員会会議録への記載にて確認した。

【評価対象年度 2019年度】

7. 財務・収支状況の確認

(1) 指定管理事業

単位:千円

項目	年度	2015		2016		2017		2018		2019	
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	決算
収入	指定管理料	91,154	86,670	94,729	86,715	98,304	105,354	107,000	110,075	105,453	113,735
	利用料金	5,339	5,278	5,548	6,175	5,758	6,127	6,900	6,460	6,176	6,578
	授産事業	11,000	14,906	11,500	12,146	11,500	8,969	9,400	8,716	12,000	8,821
	その他	9,442	3,262	9,681	5,470	9,920	5,185	4,862	4,763	10,398	5,130
	サービス活動外	0	3,110	0	0	0	3,332	0	924	0	1,925
	特別増減	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	施設整備等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	52
	財務活動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	116,935	113,226	121,458	110,506	125,482	128,967	128,162	130,938	134,027	136,241
支出	人件費	74,880	67,250	76,003	74,260	80,143	75,885	75,326	75,938	85,565	89,012
	維持管理経費	16,932	14,892	17,545	15,997	18,218	17,117	16,644	16,318	19,504	17,958
	自主事業	9,852	15,172	10,152	11,703	10,102	9,985	10,659	9,655	10,352	7,992
	その他	9,967	185	10,116	1,095	10,667	2,007	1,200	1,766	11,389	1,656
	サービス活動外	0	1,805	0	2,008	0	0	0	0	0	0
	特別増減	0	11,055	0	11,093	0	0	0	0	0	0
	施設整備等	0	0	0	0	0	1,080	1,200	0	0	1,693
	財務活動	0	0	0	0	0	12,352	11,100	21,019	0	31,778
	計	111,631	110,359	113,816	116,156	119,130	118,426	116,129	124,696	126,810	150,089
総計(収入-支出)	5,304	2,867	7,642	-5,650	6,352	10,541	12,033	6,242	7,217	-13,848	

(2) 指定管理者本部 ※共同事業体の場合、原則として代表企業を記載する。

単位: %

年度	2015	2016	2017	2018	2019
経常利益率	3.8	2.3	2.5	1.9	3.0
負債比率	28.2	27.6	29.0	28.8	26.8

【経常利益率(%)】経常利益 / 売上高 × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

【負債比率(%)】負債(他人資本) / 資本(自己資本) × 100(小数点以下第2位を四捨五入)

財務状況に関する確認結果(適否)	所管課所見
適	2019年度の総計がマイナスだったため確認したところ、修繕費積立と備品購入費積立で各10,000千円の支出になったためであるとのこと。それを差し引けば黒字であり、それ以外の部分も適切な執行であり安定的に運営できている。